

衛生化学 I (公衆衛生)

Hygienic Chemistry I

薬：D1-03312MY

衛生科目 3 年／前期 1.5 単位 必修科目

科目責任者 酒井 良子(公衆衛生・疫学研究室)

■教育目的

人々(集団)の健康と疾病の現状及びその影響因子を把握するために、保健統計と疫学に関する基礎的事項を習得する。また、生活習慣病対策、感染予防、母子保健、学校保健、労働保健など、健康増進並びに疾病予防について、医療人として正しい知識と技能を身に付ける。臨床検査技師に重要な知識の学習も含まれる。【卒業認定・学位授与の方針：YD-①、YD-②、YD-⑤】

■学習到達目標

1. 保健統計の意義、指標、変移、情報入手について正しく理解する(知識・技能)
2. 疫学データ並びに分析手法を学び、リスク評価ができるようになる(知識・技能)
3. 健康増進・疾病対策についての関連法規、実務を理解する(知識)
4. 薬剤疫学に関する特別講義や論文課題を通じて、薬学と公衆衛生の関係を理解する(技能)

■準備学習(予習・復習)

予習：指定された課題の準備をしておく(30 分)

復習：保健統計や疾病対策等について、最新情報を確認しておく(20 分)

■授業形態

課題解決型学習、講義

■授業内容

No.	項目	授業内容	備考・SBO コード
1	公衆衛生と健康	授業の進め方説明、健康の概念、予防の概念	D1(1)-①-1
2	保健統計 1	人口静態統計、人口動態統計	D1(1)-②-1
3	保健統計 2	死因統計	D1(1)-②-3
4	保健統計 3	疾病統計	D1(1)-②-2
5	疫学 1	疫学とは、三要因、因果関係	D1(1)-③-1
6	疫学 2	疾病・死亡の指標、疫学の効果指標	D1(1)-③-2
7	疫学 3	疫学研究のデザイン、バイアス、スクリーニング	D1(1)-③-3～4
8	疾病の予防 1	健康日本 21	D1(2)-①-1～2
9	疾病の予防 2	生活習慣病対策、がん対策	D1(2)-③-1～3
10	疾病の予防 3	母子保健、感染症対策	D1(2)-②-4 D1(2)-④-1～2
11	疾病の予防 4	学校保健、産業保健	D1(2)-⑤-1～2 B4-②-3
12	特別講義	薬剤疫学(医療情報データベース)	E1(4)-①-1～4
13	特別講義	薬剤疫学(妊娠と薬)	E1(4)-①-1～4
14	課題論文	薬剤疫学論文を読む(レポート)	E3(1)-⑥-1～4
15	総合演習	全体のまとめ、計算問題	

■授業分担者

酒井 良子 (No.1～15)、赤沢 学 (No.12～15)

■課題(レポート、試験等)のフィードバック及び成績評価方法

講義資料を MY-CAST にアップロードし、随時質問等に応じる

特別講義並びに課題論文のレポート作成を通じて自己学習を行う

成績評価方法：課題レポート(20 %)、期末試験(80 %)で評価する

■教科書

「公衆衛生がみえる 2024-2025」メディックメディア社

■参考書

「厚生労働白書」 厚生労働省

「国民衛生の動向」 厚生労働省